

# 軍艦平戸任務報告

(五月分)

0003

軍艦平戸任務報告

五月十日	火	午前九時舞鶴發小樽二向ノ(天候晴海上平穩) 正午位置(御神島(六五七)北三、五度西二、三度)
五月十一日	水	航海中(天候晴後雨午後土時頃より北東ノ風雨ト夫ニ強シ) 正午位置(北緯三九度三、五分 東經三九度二、五分)
五月十一日	木	午後三時半小樽着(天候雨後曇北東風浪高) 最高温度五、二度 最低温度四、四度 忍路高島豆帶ノ山上高白雲覆リ見野外梅櫻李等ノ花 満開ス
五月十三日	金	小樽碇泊(天候晴) 最高温度六、一度 最低温度四、一度 軍需(水糧食)搭載
五月十四日	土	武藏栗橋多摩丸北洋丸大浦丸鞍馬丸及魁丸小樽入港 小樽碇泊(天候晴) 最高温度六、一度 最低温度四、三度 軍需(糧食)搭載

0004

五月十五日 日

午後四時小樽發亞港<sub>向</sub> (天候晴海上平穩) 最高溫度五六度  
最低溫度四五度

栗橋多摩丸北洋丸大浦丸及鞍馬丸小樽出港

五月十六日 月

航海中 (天候晴海上平穩) 最高溫度五五度  
最低溫度四三度

正午位置 (北緯四六度五八分)  
東經一四一度三五分)

第三水雷隊司令部官恒例檢閲

本日より下士官兵ニ防寒ニ着ヲ着用セシム

五月十七日 火

午前八時亞港着 (午後午前時驟雨降り偏南風強ク海上波高シ)

風向南<sub>南西</sub> 午後晴穩 (最高溫度四六度)  
最低溫度三七度)

山上其他諸所ニ殘雪アリ午前中南風濃氣伴ヒ寒氣

激シカリシモ午後天晴風止ニ後ハ溫暖ナリキ

栗橋多摩丸又大浦丸亞港入港

第六第三駆逐隊泥港<sub>向</sub>亞港發

五月十八日 水

午前八時亞港發午後一時半泥港着 (天候晴海上平穩) 最高溫度四九度  
最低溫度三四度

0005

五月十九日 金

泥港碇泊(天候曇長降稍大風力四) 最高温度四二度 最低温度二五度

日月更該方面ニ向テ出港ス

メ若葉出港「スタルカ」方面ニ其ノ十三名ヲ收容ニ帰港ス

「シム」 「スタルカ」方面ニ於テ内地労働者取締及救護ヲ為

日帰港(以下毎日駆逐艦ニ復流水視察ノ爲出動ス)

子ノ日間宮海峡及其ノ以北ニ於ケル流水視察ヲ爲出動即

栗橋多摩丸 鞍馬丸及鮎丸 泥港入港

五月十九日 木

泥港碇泊(天候曇海上波高シ) 最高温度四二度 最低温度二四度

遭軍及本隊行動豫定ニ関シ件ノ受領

機密第三雷戦隊命令第五號(「ヨキ」ヲ行動薩哈連洲環

山上崖岸林間諸所ニ残雪深キヲ見ル

上ニ移ス午後一時四十五分司令官 歸艦將旗ヲ掲ク

最上恒例檢閲ヲ爲午前七時半司令官出艦將旗ヲ最

0006

五月二十日	土	多摩丸ヨリ炭水搭載	泥港碇泊(天候晴海上平穩) 最高温度五二度 最低温度三九度)	武藏、栗橋及鞍馬丸出港	子自修理ノ爲大湊要港ニ向ケ矣	薩哈連洲派遣軍司令官中華丸ヨリ亞港ヨリ來港午後來	訪、夕頃同船ニ歸亞	五月二十日	日	泥港碇泊(天候晴海上平穩) 最高温度五二度 最低温度三七度)	多摩丸出港	三日目「シ」ニ於テ先勞働者十六名ヲ救助歸港ス、之ヲ	摩丸ニ移乗セシメ派遣軍々司令部ニ交付ス	泥港碇泊(天候晴海上平穩) 最高温度五八度 最低温度三六度)	風強カサレモ氣候寒冷ナリ	艦長勅諭奉讀本隊現狀關シテ詳々令隊長精神祥和	五月二十日
-------	---	-----------	-----------------------------------	-------------	----------------	--------------------------	-----------	-------	---	-----------------------------------	-------	---------------------------	---------------------	-----------------------------------	--------------	------------------------	-------

0007

	機密第三水雷戦隊命令第六号(雷隊尾進出計畫關件) 受領
五月二十四日	火 泥港碇泊(天候晴海上穏 <small>最高温度廿一度 最低温度四二度</small> ) 福勢丸出港
五月二十五日	水 泥港碇泊(天候曇海上平穏 <small>最高温度五二度 最低温度四二度</small> ) 福勢丸入港 栗橋入港即日出港 鞍馬丸 魁丸 出港 第三水雷戦隊聯合陸戦隊カジノ方面ニ行軍即日歸隊 左ノ通り臨時乗組ヲ命シ工作班長ノ命ヲ承ケ服務セシ 各乗船
	常木 中尉 鞍馬丸 浅野 中尉 魁丸 鬼坂 少尉 栗橋

0008

五月二十九日		泥港碇泊(天候曇稍長曇り 最高温度六一度 最低温度四二度)
五月二十八日	土	栗橋出港 泥港碇泊(天候曇海幸總 最高温度五二度 最低温度四二度)
		三國丸入港即日出港
		栗橋入港
		相撲競技ヲ行フ
五月二十七日	金	三十七八年戦役海軍記念日付記念式短艇競漕 泥港碇泊(天候曇霧層來襲入 最高温度四二度 最低温度四二度)
		逐隊(子自缺)ヲ率ヒ尼港ニ向テ進發
五月二十六日	木	將旗ヲ最上ニ移ス司令官朝風ヲ移乘シ最上又第三駆 泥港碇泊(天候曇霧層來襲高 風向西南最高温度四二度 最低温度四二度)
		出發
		下官兵各七名若葉潮朝風ニ臨時乗組ヲ命ゼシ

0009

	第三土驅逐隊(子日缺)多摩丸、大浦丸、魁丸、松島丸及
	直春丸入港
五月三十日	朝風及潮、炭水ヲ補給ス
	泥港碇泊(天候晴稍長濤、最高温度五二度、最低温度四一度)
	第三土驅逐隊(子日缺)及松島丸出港
	福勢丸ヲ炭水搭載
五月三十日	火
	泥港碇泊(天候曇、最高温度五七度、最低温度四五度)
	多摩丸ヲ糧食、清水搭載
一般經過概要	
五月十五日	小樽發
今十七日	亞港着
今十八日	亞港發泥港着

0010



泥港着當日以降連日駆逐艦の視察之所より、閻宮海峡迄  
尚流氷多ク尼港進出不可能ナリモ二十五日より漸ク流氷  
減少セリ認メ司令官ハ朝風ニ移乗シ最上第三駆逐隊(手自  
越)ヲ率ヒ航路浮標設置ニ從事スル栗橋以下、雑船モ同  
行、進發セリ、然ルニ高海峡以北ハ流氷ニ閉セテ進發不能  
船ハ海峡附近ニテ待機ノ姿勢ニ在リ

終)

當方面一般ニ北東ノ風強キ時ハ霧ヲ伴ヒ氣候寒冷ナリ

0011

大正十年五月中軍艦平戸機關科任務經過報告

目次

一 一般記事

附別紙

(一) 炭費試驗成績

(二) 吃水對軸馬力實驗成績

(三) 重油「夕方」漏洩

二 機關科需品其他「關」之件

(一) 艦營需品

(二) 工業用器具

(三) 諸試驗諸實驗等「關」之件

三 諸統計表

(一) 燃料消耗品現量及費額表

- (一) 燃料消耗品搭載表
- (二) 眞水搭載表
- (三) 眞水蒸溜表
- (四) 工業成績表
- (五) 機関動作表
- (六) 汽走表

(終)

0013

大正十年五月中軍艦平戸秘閣科任務經過報告

一一般記事

五月十日

火曜日

舞鶴ヨ小樽ニ向ケ航海中

午前九時小樽ニ向ケ舞鶴出港 原速十二節

諸試驗諸實驗項目

(一) 午前九時吃水對軸馬力實驗ヲ開始ス

目的特別任務ヲ為シ軍需品等六ヶ月分搭載セルヲ以テ此ノ機ヲ

利用シ舞鶴亞港間ニ於テ連續本試驗ヲ施行シ深度ノ吃水

於テ一定回轉數基ニ吃水一吋ニ對シ軸馬力ノ増減ヲ決定スルヲ

本旨トス(或續等別紙參照)

(二) 自午後四時  
至午後七時八時間速力十二節炭費試驗

目的巡航「ブルビ」ヲ使用密閉排氣(十五所)ハ主「ブルビ」第一落段

ニ導キ第三種和炭(新炭)ニ於テ炭費ヲ決定スルヲ本旨トス

0014

(成績別紙参照)

午後二時三分 第九、二、三号罐塩分100グラム以上トナル  
追次駆水ヲ行ヒ塩分ノ下降ヲ計ル

原因右舷機械室汚水増加為補助抽氣唧筒衛帶柳  
部ヨリ汚水吸引ニ起因ス

主ナル艦内五業

品名	従業員数及 作業時間	工業機械 使用時数	使用材料 数量	備考
洗濯用ストーア	三名			
煙突及敷板	二時三分			
其他特記スベキコトナレ				新製(本艦モ)

五月十日 水曜日 舞鶴ヨリ小樽ニ向ケ航海中

續航

諸試験諸實驗項目

自午前一二時 八時間速力十二節炭費試験  
至午後八時

目的 巡航「タルビン」使用密閉排氣（五所）ハ主「タルビン」第一落段ニ

導キ第三種和炭（新原炭）ニ於ケル炭費ヲ決定スラ本旨トス

（成績等別紙参照）

主ナル艦内工業

品名	作業時間	工場機械使用時間	使用材料	備考
ビルシ唧筒發條	八時 三分		眞鍮針金 二五	新製（本艦用）

其他特記スヘキコトナシ

五月十二日 木曜日 舞鶴尋小樽高ヶ航海中

續航

午前零時 天候險惡トナリシヲ以テ吃水對軸馬力密着驗申止ス

自午前二時五五分 至午前二時三十分 期間速力一〇又ハ八節等ニ變更ス

0016

午後三時三十分 小樽入港

午後三時四十分 檣檣宜謹消火

午後三時四十分 旗信 戰隊檣檣長 各隊各艦檣檣長

直午に來艦ヲ望ム

其他持記スヘキトナレ

五月十三日 金曜日 小樽

清水(飲雜罐水)一三七リ之水船(同盟通運株式會社)より搭載

主たる事業

右舷前部主軸滾下降度計測

檣檣室兩舷交通口に於て管腐蝕穿孔部應急修理

左舷巡航バルビニ減速車室検査

罐外部掃除

0017

「セレン」ニ至ル蒸氣管防寒裝置

揚錨揚艇機防寒裝置

其他特記スヘキコトナレ

五月十四日

土曜日

小樽

主ナル事業

上甲板「テストタンク」上真水管防寒裝置

上部發電機防寒裝置

其他特記スヘキコトナレ

五月十五日

日曜日

小樽

清水五二トニ(飲雜罐水)水船(同盟通運株式會社)ヨリ搭載

午後五時露領「アキカドク」ニ向ケ小樽出港 原速 十二節

0018



諸試驗諸實験項目

一 午後八時 吃水對軸馬力實験ヲ再開ス

(二) 自午後八時 至十六日午前四時 八時間速力一二節 炭費試驗

目的 巡航「タルビン」使用密閉排氣(五噸)ハ主「タルビン」第一落

段ニ道キ第三種煉炭於此炭費ヲ決定スルヲ本旨トス

(成績等別紙参照)

主事事業

第一、二汽艇機關防寒裝置

其他特記スヘキコトナシ

五月十六日

月曜日

小樽 小樽領下キ下呂山 南航海中

續航

恒例檢閲施行

0019

諸試験諸實驗項目

(一) 自午前八時八時間速力十二節炭費試驗

目的 巡航「タルビ」使用密閉排氣(五所)ハ一台ノ蒸化器(鐵罐)

水(二道)キ第一種煉炭ニ於テ炭費ヲ決定スルヲ本旨トス

(成績並別紙参照)

(二) 自午後八時至十七時前四時ハ時間速力十二節炭費試驗

目的 巡航「タルビ」使用普通排氣トシ生蒸氣(五所)ヲ一台ノ蒸化

器(鐵水)ニ道キ第一種煉炭ニ於テ炭費ヲ決定スルヲ本旨トス

(成績並別紙参照)

其他特記スルキコトナシ

五月十七日

火曜日

露領「アレキ」下見キ

續航

午前七時

吃水對軸馬力實驗終結 (實驗成績等別紙参照)

午前八時

亞港入港

午前八時五分

機宜罐消火

主事事業

罐外部掃除

四蹄排水電動機扇車檢水用嘴螺子腐蝕部修理

揚艇機軸左舷機軸室間傳聲管腐蝕部修理

其他特記スヘキコトナシ

五月十八日

水曜日

露領アレキサンドリアより露領デカトリ山回航中

午前八時「デカトリ」ニ向ケ「アレキサンドリア」出港 原速十三節

午後一時三十分「デカトリ」着

午後一時三十分 機宜罐消火

0021

午後一時三十分 旗信明丸多摩丸入港セハ次ノ順序ニヨリ石炭ノ補給ヲ行ス十九日六隊最上、二十日平戸、三土隊、第三種煉炭平常用トシテ搭載差支ナシ

主ナル事業

罐外部掃除

通風電動機係電動子絶縁抵抗計測

主ナル艦内工業

品名	従業員数及 作業時間	工場機 使用時数	使用材料 数及量	備考
火屏風	三五時 四分	/	鉄 二七、 〇枚	新製(本欄モ)

其他特記スヘキ事ナシ

五月十九日

水曜日

露領「デカストリー」

主ナル事業

0022

一 号主送水唧筒蒸氣管内部検査

罐外部掃除

通風電動機豫備電動子絶縁抵抗計測

一 辨電動交流機原磁縮線絶縁不良部修理

主機板回轉電動機電路絶縁不良部修理

通信器電路絶縁不良部修理

其他特記ス(キコトナシ)

五月二十日

金曜日

露領「カストリ」

運送船多摩丸ヨリ左記軍需品ヲ搭載ス

第三種煉炭 六〇噸 (行動用四〇噸 平常用二〇噸)

清水四〇トン (雜用)

其他特記ス(キコトナシ)

五月二十日

土曜日

露領「デカトリ」

主たる事業

罐外部掃除

一 珪主給水唧筒分解検査

九番重油「タンク」ニ汚水ノ侵入ヲ發見ス其ノ原因調査ニ着手

其他特記ス（キコトナシ）

五月二十二日

日曜日

露領「デカトリ」

午前午後半暇宛免狩

主たる事業

九番重油「タンク」掃除

其他特記ス（キコトナシ）

五月二十三日

月曜日

露領「テカトリ」

午前

艦長御勅諭奉讀終テ合隊長精神講和

午後

補修教育

九番重油「タ」漏洩部發見處置其他事項(別紙参照)

主丸艦内ニ業

品名	從業員教及工場機械及	使用材料及	備考
主抽氣唧筒滑車	作業時間	使用時間	
運動裝置用栓	二時五分	五時五分	新製(本艦ノモノ)
鉄	三四時五分	鉄板 三八板	右
水面計螺釘	天時一分	鉄板 五板	右
		眞鍮 三〇	左

其他特記スヘキコトナシ

五月二十四日

火曜日

露領「テカトリ」

主丸事業

二号蒸化器内部検査及掃除

罐外部掃除

一号主給水唧筒分解検査

七号送風機械曲肱及滑頭調査

通風電動機豫備電動子及原磁線線縁抵抗計測

主七艦内工業

品名	従業員数及 作業時間	工場機械及 使用時間数	使用材料及 数量	備考
九番重油 穿孔部	二四時 分		鉄板 三〇枚	修理

其他特記スヘキコトナシ

五月二十五日 水曜日

露鎖「カトリ」

主ナル事業

罐外部掃除

0026



六七号送風機曲肱滑頭調整

七号罐爐内煉瓦修理

電動機豫備電動子及管制器原磁線絶縁抵抗計測

第二機汽艇罐外部掃除

其他特記スキップナシ

五月二十六日

木曜日

露頓「デクストリー」

午前午後半艇究網引方

主たる事業

九番重油「夕」腐蝕部當金施行

罐外部掃除

六七号送風機曲肱滑頭調整

七号罐爐内煉瓦修理

0027

電動機豫備電動子原磁線絶縁抵抗計測

主丸艦内工業

品名	作業員数及 作業時間	工業機械 使用時間	使用材料及 量	備考
カマシ旗竿金物	三時 一 三〇分	旋盤 三時 三〇分	真鍮 一、八	新製(本磁ノモノ)
汽機キルバシ	二時 〇分	/	真鍮 一、二五分	右
クリツポ	二時 〇分	旋盤 四時 一〇分	真鍮 一、〇	右

其他特記スヘキトナシ

五月二十七日

金曜日

露路領「デカストリ」

午前八時五分記念式挙行

端艇通船競技

午後相撲

其他特記スヘキトナシ

0028

五月二十八日

土曜日

露領「デカストリ」

午後普通學

主九事業

一 号 蒸 化 器 蒸 化 管 掃 除

船 機 械 室 補 助 機 械 豫 備 品 手 入

罐 外 部 掃 除

一 号 主 給 水 唧 筒 及 六 七 号 送 風 機 曲 軸 滑 頭 調 整

第 二 汽 艇 補 助 給 水 唧 筒 吸 錐 棒 修 理

其 他 特 記 ス ( キ 下 ナ )

五月二十九日

日曜日

露領「デカストリ」

午前半艇陸上運動

0029

午後駆逐艦朝風、第二種煉炭八四トニ、罐水五トニ

駆逐艦潮、<sup>第一種煉炭</sup>六〇トニ、罐水五トニ、供給ス

其他特記スヘキコトナシ

五月三十日

月曜日

露領テカストリ

午前第二種煉炭行動用一三〇トニ、給炭船福勢丸ヨリ搭載

清水二五トニ（雑用水）給炭船福勢丸ヨリ搭載

午後補修教育

主上ル事業

罐外部掃除

一辨主給水唧筒結合

主上ル艦内工業

品名

従業員数及工場概

使用材料及

備

考

0030

汽船補助給水 可筒吸鑿機	五時一分	旋盤	五時一分	鉄	三八	新製(本機も)
-----------------	------	----	------	---	----	---------

其他特記スヘキコトナシ

五月三十日 火曜日 露領「デカストリー」

~~主事~~ 清水二五七(雑用水)給炭船多摩丸ヲ搭載

主事事業

罐外部掃除

一号主給水唧筒結合

其他特記スヘキコトナシ

(終)

0031

附別紙

運轉時數(時分)	總航程(哩)	平均速度(節)	推進軸回轉數(每分)	使用錐數(分數)	機械使用區分	蒸氣噴口使用數(分數)	蒸氣錐(听)	汽機(听)	圧蒸汽室(听)
十日午後時 正子迄 八一〇	九五、二	一一、九	一四三、九	8/16	巡航 タビ タビ	巡 12/14 A主 B 12/16	二五三	二五一	一七九
十日正午 午後八時 八一〇	九六、五	一二、一	一四四、二	7/16	全上	全上	二五四	二五二	一六八
十五日午後時 十六日午前時 八一〇	九八、四	一二、三	一四四、一	8/16	全上	巡 12/14 A主 B 12/16	二五〇	二四八	一八三
十六日午前時 午後時 八一〇	一〇〇、〇	一二、五	一四四、〇	全上	全上	巡 12/14 A主 B 12/16	二五三	二五一	一八〇
十六日午後時 十七日午前時 八一〇	九六、七	一二、一	一四三、九	全上	全上	全上	二五二	全上	一七九

先

頭

艦

五日  
七日

十二節(軍艦平戸)

毎

日

0032  
0033

（一）炭費試験成績（編隊）（原速十二節）（軍艦平戸）

汽走年月日 大正十年五月 十六、十七、十八、十九、二十、二十一日

航行序列番號 先頭艦

運轉時數(時分)	總航程(哩)	平均速度(節)	推進軸回轉數(每分)	使用錐數(分數)	機械使用區分	蒸發噴口個數(分數)	蒸罐(听)	汽機(听)	圧蒸汽室(听)
十五日午後時 正子迄 八〇	九五、二	一一、九	一四三、九	8/16	巡航	12/14 A主 12/16 B	二五三	二五一	一七九
十五日正午 午後八時 八一〇	九六、五	一二、一	一四四、二	7/16	全上	全上	二五四	二五二	一六八
十五日午後時 十六日午前時 八一〇	九八、四	一二、三	一四四、一	8/16	全上	14/14 A主 12/16 B	二五〇	二四八	一八三
十六日午前時 午後時 八一〇	一〇〇、〇	一二、五	一四四、〇	全上	全上	12/14 A主 12/16 B	二五三	二五一	一八〇
十六日午後時 十七日午前時 八一〇	九六、七	一二、一	一四三、九	全上	全上	全上	二五二	全上	一七九

海軍

0032  
0033

重油(魁)	燃石炭(魁)	品種	風ノ力及方向	潮流力及方向	海上ノ模様	出渠後日数	排水量(噸)	平均吃水(呎吋)	推進器失脚(百分)	K	平均馬力	力係數落(所)
	三二九	J <sub>2</sub>	↙ 1	不明	和	六	六、三八〇	二〇一 $\frac{1}{2}$	九、五	0.000六一	一、八三二	八二
	三四、四	全上	↙ 2	全上	全上	七	六、二三〇	一九一〇	八、一	0.000六〇	一、七八四	七八
	三三、六	B <sub>2</sub>	↙ 0-1	全上	全上	一二	六、一一五	一九一五 $\frac{1}{2}$	六、五	0.000五九	一、七六三	八四
	三五、七	全上	↙ 1-2	全上	全上	全上	六、〇六五	一九一四	四、九	0.000五七	一、七〇七	八二
	三九、九	全上	↘ 2-4	全上	稍荒	一三	五、九八五	一九一二 $\frac{1}{2}$	七、九	0.000五五	一、六五〇	全上

0034



備考	量	要	夜	一	燃料	燃料	料	合	計
一、使用補助機械 二、密閉排氣(十所) 三、密閉排氣(十所) 三、密閉排氣(十所) 三、密閉排氣(十所)	二八、五	一五三	九	九八、七	二、九	八、一	二、二六	三三、九	
一、合上	二四、	一五〇	九	一〇三、	二、八	九、七	二、四一	三四、四	
一、合上	三一、五	合上	九、九	一〇〇、八	二、九	九、三	二、三八	三三、六	
一、合上、外 二、密閉排氣(十所) 三、密閉排氣(十所) 三、密閉排氣(十所) 三、密閉排氣(十所)	二八、五	一六二	九	一〇七、一	二、八	九、八	二、六一	三五、七	
一、合上	二七、	一七四	一〇、五	一一九、七	二、四	一、〇	三、〇二	三九、九	

毎  
車

0035



(二) 吃水對軸馬力實驗成績

(1) 本實驗、舞鶴小樽間 自五月十日上午九時 至五月十一日午後十二時 三十九時間、小樽、亞港間 自五月十五日午後八時 至五月十七日午前七時

三十五時間施行ス

(ロ) 曲線圖畫成原表算定法

一、軸馬力、本實驗中ヲ通シ、回轉數ヲ一定(每分一四四)ニ保テ、每三十分ニ一回、軸

馬力ヲ測定シ、每四時間ノ平均軸馬力ヲ曲線圖畫成ノ原表トス

二、吃水、本實驗中ヲ通シ、每四時間ニ於ケル燃料、水、糧食等ノ消費額ヲ合

計シ、毎一吋ヲ浮沈セシムルニ要スル噸數(本艦)ニヨリ、四時間毎ノ吃水ヲ算出シ

曲線圖畫成ノ原表トス

(ハ) 右ニ原表ニヨリ得タル曲線圖ニ依テ、吃水十九呎半附近ニ於テハ馬力ハ吃水ニ正比例

シ、増減スルモノト見テ、差支ナシト認ム

(二) 參考諸件

一、本艦特別任務ヲ帶ビ、約六ヶ月間、軍需品等ヲ搭載シ、大正十年五月十日

0037

舞鶴發小樽ヲ經テ亞港面航スル機トシ本實驗ヲ施行セリ

二 舞鶴出港時排水量六四二噸 平均吃水二十呎二吋

小樽投錨時排水量六一三五噸 平均吃水十九呎五吋

小樽出港時排水量六一七〇噸 平均吃水十九呎六吋

亞港投錨時排水量五九八噸 平均吃水十九呎一吋

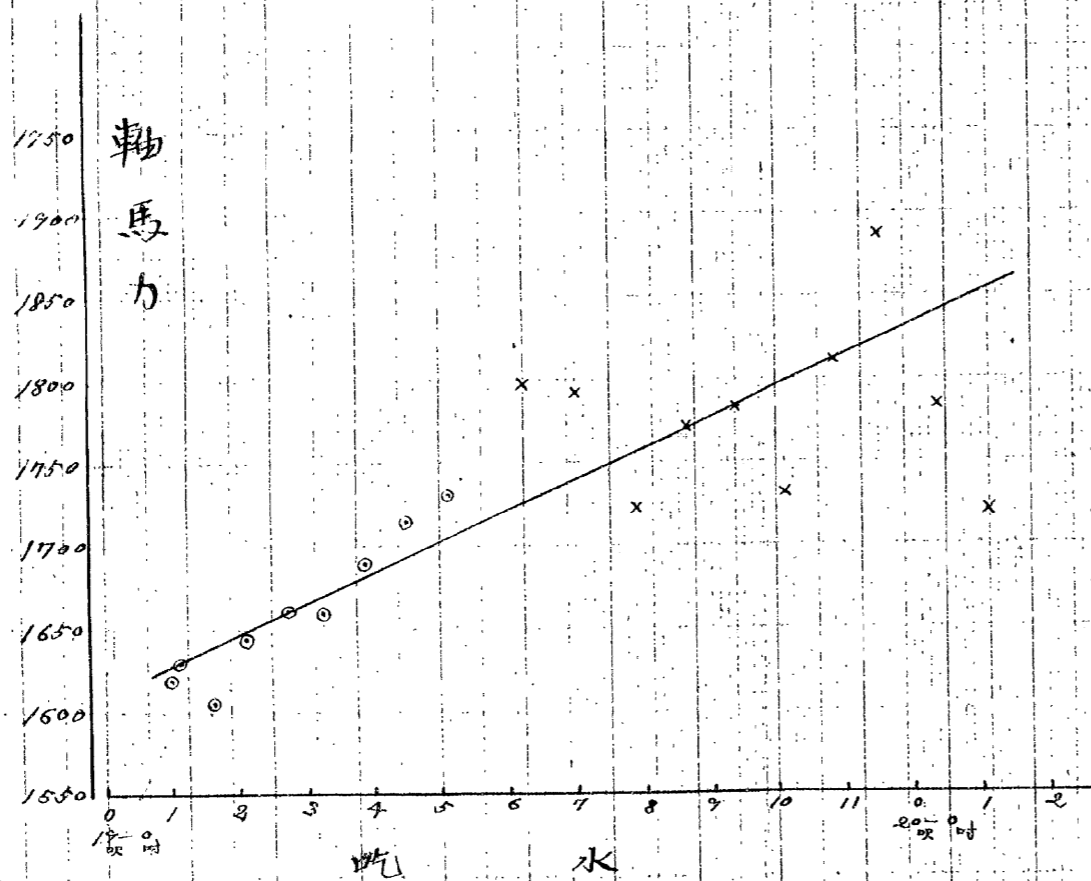
三 本實驗中ハ天氣晴朗海上平穩ニシテ潮流殆トナリ唯小樽亞港間ニ於

テ終始多少ノ風ニ追ヒ居リシノミナリ

(終)

軍艦平戸吃水對軸馬力曲線圖

大正十年五月十七日



舞鶴小樽間			
月時	毎分回転数	軸馬力	吃水 (m)
5-10	144.0	1,717	20-1/8
0-4	144.1	1,781	20-7/8
4-8	144.0	1,884	19-11/8
8-12	144.0	1,811	19-10/8
5-11	144.1	1,727	19-10/8
0-4	143.9	1,782	19-9/8
8-12	144.0	1,770	19-8/8
0-4	144.1	1,721	19-7/8
4-8	144.0	1,772	19-7
8-12	144.1	1,795	19-6/4
小樽並港間			
月時	毎分回転数	軸馬力	吃水 (m)
5-10	144.1	1,730	19-5/8
5-10	143.9	1,713	19-4/8
4-8	144.1	1,689	19-3/8
8-12	143.9	1,660	19-3/8
0-4	144.1	1,661	19-2/4
4-8	144.0	1,644	19-2/8
8-12	144.0	1,605	19-1/8
5-11	144.0	1,630	19-1/8
4-7	144.0	1,617	19-1

0039



(三) 重油タンクノ漏洩

年月日	大正十年五月二十一日
漏洩箇所	九番重油タンク 該漏洩箇所上部 單底上部汚水
漏洩原因	該漏洩箇所上部 單底上部汚水
漏洩程度	大正十年五月六日 最速検査ヲ行フ ル年月日及其状況
處置ノ概要	重油タンク 他ノタンクニ移シ 故障箇所検査 載時及今日旨ノ結果 新至旨前記如漏 小樽港際該タンク 一部ニ發見ニ至リ 日應急修理 六何等異状ヲ認メ トシ厚サ約1/4 鉄板三九個 リカ今日主目汚 螺釘孔ヲ穿テ本 締及浸衛 水ニ重油浮遊不 備ヲ察シ穿孔部 當螺釘 ヲ認メ直ニ検査 ニシテ締付ケ尚 其上ニシテ面 着手ニ九番タンク 流リ檢吸ノ障 接手單底 ニ異状アルヲ確 ニ接觸セル多 概水四個ヲ檢 メタリ 是等異状ノ發見 後
檢査後日	六時間 (下管一兵三)
檢査時間	七時間

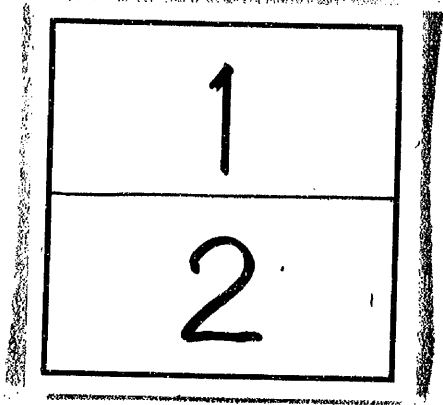
0040

記事 吸水管接手ハ永年使用ノ多種ノ原因ヨリ漸次單底板ニ接觸スルニ至リシモノリト認め

直田正純  
様  
御  
査  
査  
御  
査  
査

0041

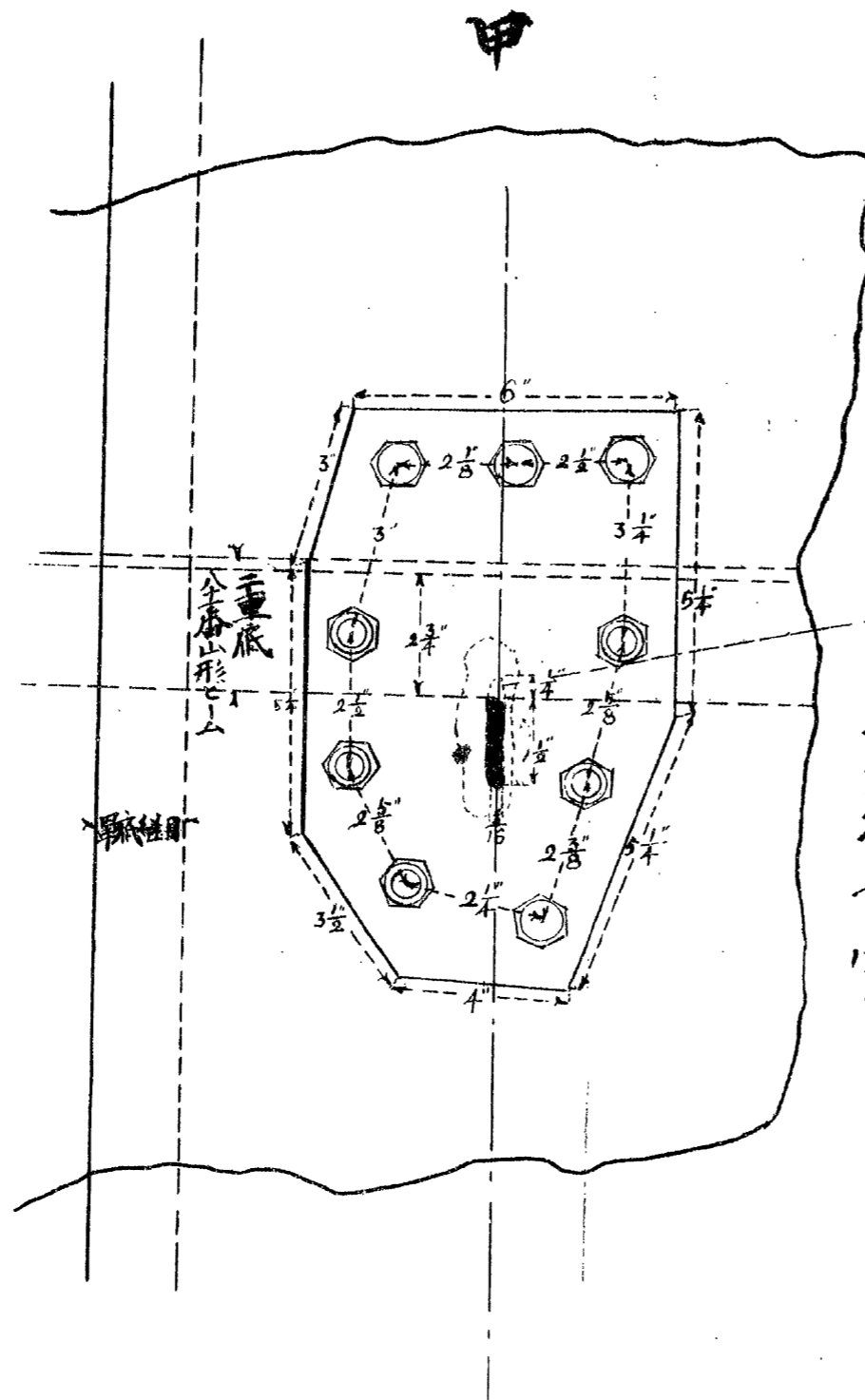
## 分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 版 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

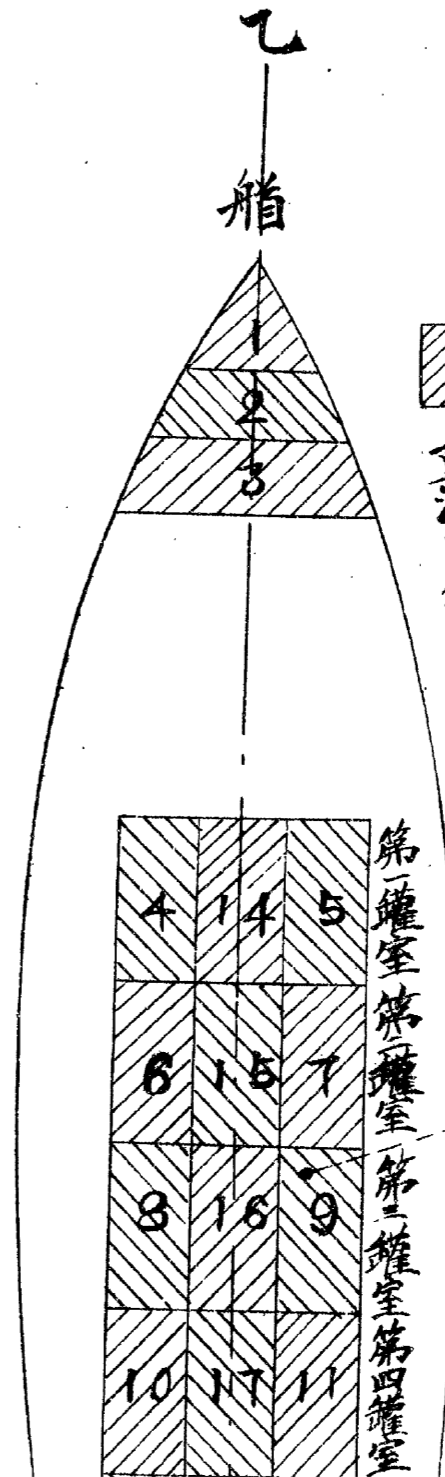


0042  
0043

# 第三罐室九番重油タンク穿孔略圖

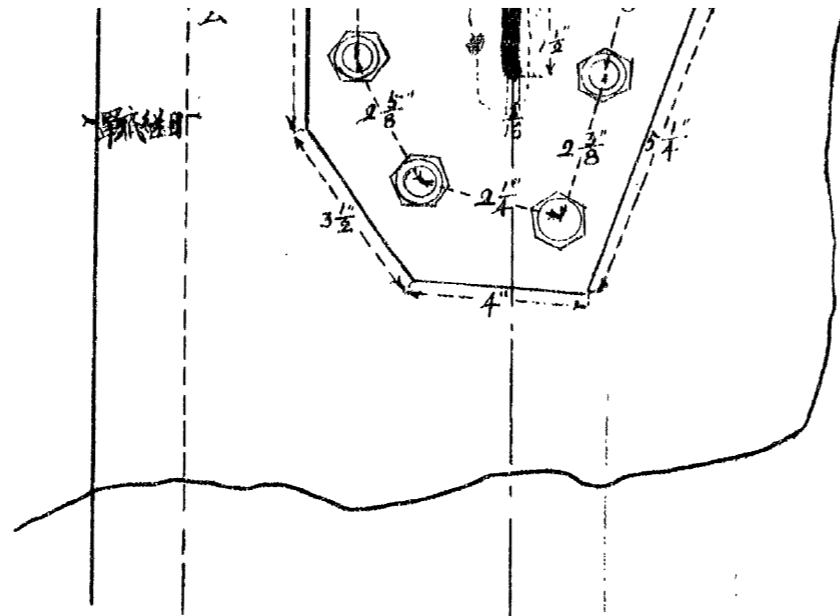


穿孔寸法は三掛レルヲ以テ  
實際孔長サ壹ナリ



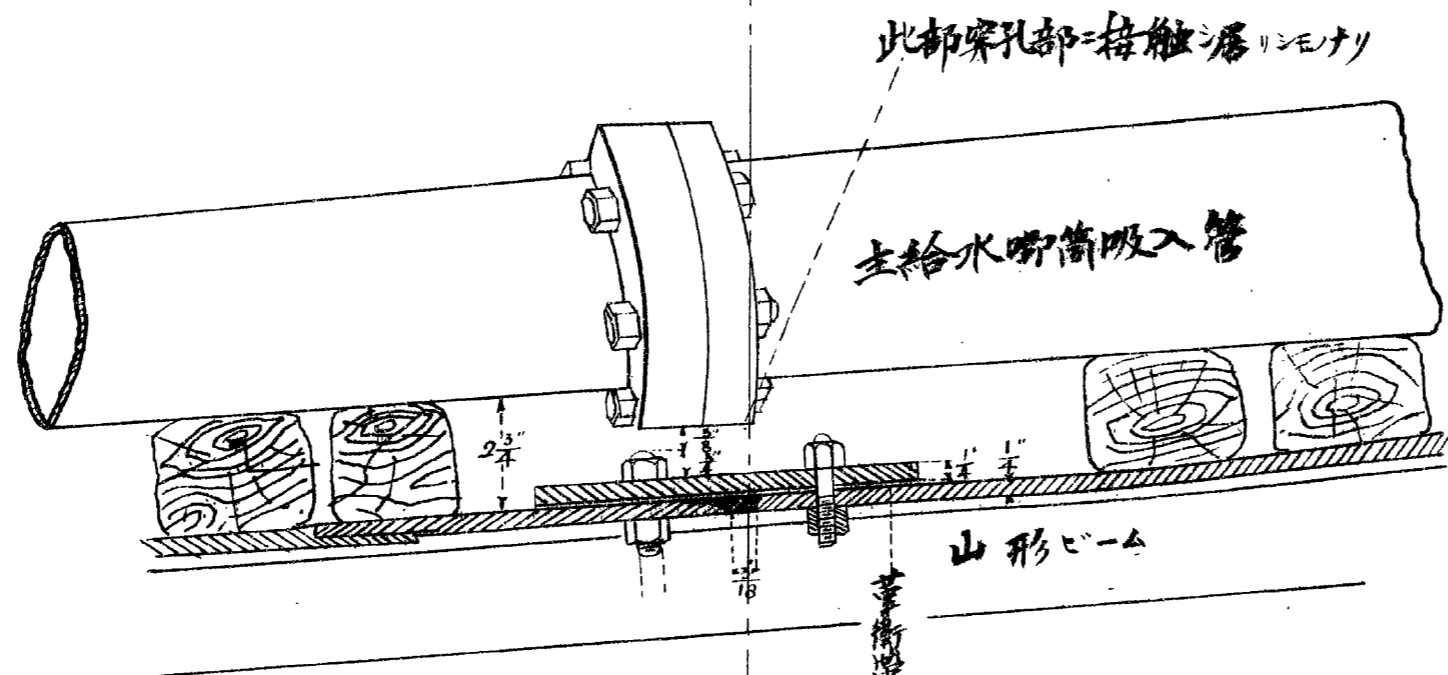
重油タンク

穿孔箇所



ムニ掛レルヲ以テ  
實際孔長サハナリ

南



此部穿孔部=接触シ漏リモナリ

主給水唧筒吸入管

山形ビーム

葦衝  
厚サ 1/16



穿孔箇所

艫

二、機關用品其他ニ関スル件

(一) 艦管用品

一、石炭ニ関シ

多摩丸及福勢丸ヲ搭載セシ第三種煉炭ハ共ニ良質ニシテ其ノ供給量モ請求量ト大差ナシ

炭量計測法

多摩丸ハ各一個ヲ煉炭一〇個ニ、福勢丸各一個一噸三分ヲ供給スルニトナリシモ、本艦ニ於テハ炭庫空積等ヲ算出シタル量ト、時々各一個實際炭量ヲ實測シ其ノ平均量ヲ各一個實際量トシテ之ヲ統各數ニ乘シタル量トシ此等實際測量ヲ平均シテ實際ノ搭載量トシ此ヲ先方所定ノ各一個ノ個數又ハ各一個ノ量ヲ乘シタル量ト大差アルトキハ先方責任者ト協議シ上其ノ差額ノ幾分

0044

ヲ搭載セリ

ニ清水ニ関シ

多摩丸貯藏ノ清水ハ塩分ヨウケリーニ福勢丸モハ塩分  
ニ「ケリー」以上ヲ示シ飲料水ニ勿論罐水ニモ適セザル以テ  
單ニ雜用トシテ搭載セリ

三) 工業用器具

本隊ノ如ク工作策源地ナキ所ニ勤勞カス艦船ハ兵器機関  
船体ノ故障欠損ニ関シテ自給自營ヨリ他ニ道立、而シテ  
其工作タルヤ鑄造工業ニ屬スルモノ多クレ  
右ニ依リ金屬製鑄造匠ノ供與ト鑄造工業伎倆ニ堪  
能ナルモク補充必要ナリ

三) 諸試験諸實驗等ニ関スル所見

本艦ノ如ク既ニ諸戰技終了剩セ閑散ニ北海方面警備

0045

ノ任ニ當ル如キ場合乗員ニ有勝タル情氣ヲ抑制スルタメ  
出來得ル限りノ機會ヲ捕促シ、諸試験、諸實驗等ヲ  
施行ス。乗員ノ緊張力ヲ増シ尚極限ノ整理操縦ニ  
関シ修得スル所甚大ナリト認ム

終)

0046

三、諸統計表

五月分諸統計表

軍艦 平戸

0047

(一) 燃料消耗品現量及費額表

費額 現量	種別	燃料 (船)				外部油 (並)			内部油 (並)		真水 (並)			糸屑 (並)		
		行 動 用		平常用	行 動 用			平常用	行 動 用	平常用	飲 用	雑 用	行 動 用	平常用		
		二種煉炭	和炭		石炭油	白油	燈代用									
費額	一ヶ月合計	484	0	0	B2/6 J2/150	684	21	0	48	41	5	337	110.0	149.5	90	11
費額	累 計	484	0	0	B2/6 J2/150	684	21	0	48	41	5	337	110.0	149.5	90	11
現量		695	0	246.5	B2 200	4573	579	0	243	288	42	54.0	15.0	20.0	460	136

(二) 燃料消耗品搭載表 (赤字、保管轉換ヲ示ス)

日	搭載地	(噸) 搭載額 (並) 噸	品 種	積込時間	毎 時 搭載噸	使用人員		積込日数	單 價	重 油		運搬船種類及數
						船員	水兵			噸	噸	
20	泥 濘	二種煉炭 200 400	二種煉炭	9-00	66.7	141	123	/	不詳	/	/	辨丸隻
20	合 上	行 130	合 上	2-10	60.0	103	85	/	不詳	/	/	福勢隻
29	合 上	行 60	合 上	1-55	31.3	51	50	/	不詳	/	/	本艦ヨリ 潮ノ供給
29	合 上	行 84	合 上	2-35	32.5	51	50	/	不詳	/	/	本艦ヨリ 朝風ノ供給

燃料以外ノ品物搭載ノ際必要權ハ記入シ其ノ他ノ便宜空欄ニ依リテ置クモノトス

(三)

日	搭載地	搭載額(物)			塩分(%)	積込必要	毎時積込量	一魁/額	水類及種	眞水蒸溜表	出用	合計	累計
		缶用	飲用	雑用									
13	小樽	28	20	29	3	4-00	34.2	0.74 <sup>0</sup>	水龍式		137.5	137.5	
15	全上	21	15	16	3	2-00	26.0	0.74 <sup>0</sup>	全上	飲用	42.7	42.7	
20	泥港	0	0	40	5	2-00	20.0		鉄丸	雑用	0	0	
30	全上	0	0	25	20	2-00	12.5		鉄丸				
31	全上	0	0	25	15	1-00	25.0		鉄丸				
29	全上	5	0	0	2	2-0	2.5		鉄丸	計	180.2	180.2	
29	全上	5	0	0	2	2-0	2.5		鉄丸				

(四)

0048

(五)

### 工 業 成 績 表

年月日	品名	依頼トルク受託トルク	修理若くは新製	材質及数量 並材料/出所	所要人員並時間
10-5-23	消防唧筒除 運動装置レバー	受託(器)	修理		
10-5-29	シキ-船金物	受託(潮)	新製	鉄 3.000 平戸材料	≒ 3名 六時間

(六)

機 關 動 作 表

日	主 水		補 水		空 操		發 電 機 械				機 械		冷 却 機		美 化 器		其 他 器	
	一	二	一	二	一	二	一	二	三	四	一	二	一	二	一	二	一	二
	時分	時分	時分	時分	時分	時分	時分	時分	時分	時分	時分	時分	時分	時分	時分	時分	時分	時分
10	20-00	20-00	20-00	21-00	0	0	3-00	6	8-30	9-00	8-00	0	0	0	0	0	0	0
11	24-00	24-00	24-00	24-00	0	0	0	0	12-00	12-00	5-00	0	0	17-00	6-00	0	0	0
12	16-30	16-30	23-30	17-00	0	0	0	0	12-00	12-00	3-00	0	0	20-30	0	0	0	0
13	0	0	24-00	0	0	0	0	0	16-00	9-00	0	0	0	0	0	0	0	0
14	0	0	24-00	0	0	0	0	0	12-00	9-00	11-00	0	0	0	0	0	0	0
15	13-00	13-00	24-00	13-00	0	0	0	0	12-00	9-00	18-00	0	0	0	0	0	0	0
16	24-00	24-00	24-00	24-00	0	0	0	0	11-00	13-00	6-00	0	0	0	17-00	0	0	0
17	9-00	9-00	9-00	24-00	0	0	0	0	12-00	12-00	0	0	0	0	8-30	0	0	0
18	11-00	11-00	11-00	24-00	0	0	0	0	12-00	12-00	3-00	0	0	0	18-00	0	1-00	0
19	0	0	18-00	6-30	0	0	13-00	17-00	3-00	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20	0	0	5-30	18-00	0	0	13-00	13-00	0	0	5-00	0	0	0	14-30	0	4-00	0
21	0	0	0	24-00	0	0	1-00	0	10-00	8-00	0	0	0	0	13-30	0	10-00	0
22	0	0	0	24-00	0	0	0	0	12-00	12-00	3-00	0	0	0	13-00	0	13-00	0
23	0	0	17-30	6-30	0	0	0	0	10-00	12-00	0	0	0	0	0	0	0	0
24	0	0	24-00	0	0	0	12-30	9-00	1-00	3-30	3-00	0	0	9-00	0	0	0	0
25	0	0	24-00	0	0	0	12-00	12-00	0	0	0	0	0	13-30	0	10-30	0	0
26	0	0	24-00	0	0	0	10-00	12-00	0	0	3-00	0	0	7-30	0	0	0	0
27	0	0	8-00	16-00	0	0	13-00	12-00	0	0	0	0	0	0	12-00	0	10-30	0
28	0	0	0	24-00	0	0	15-00	12-00	0	0	3-00	0	0	0	12-30	0	10-30	0
29	2-00	2-00	13-00	24-00	0	0	14-00	14-00	0	0	0	0	0	9-00	4-00	0	0	0
30	0	0	0	24-00	0	0	13-00	12-00	0	0	3-00	0	0	0	12-00	0	12-00	0
31	0	0	13-00	24-00	0	0	16-00	13-00	0	0	6-00	0	0	0	0	0	0	0
合計	117-30	117-30	330-30	338-00	0	0	135-30	124-00	143-30	132-30	80-00	0	0	90-30	128-00	13-30	147-30	0
累計	117-30	117-30	330-30	338-00	0	0	135-30	124-00	143-30	132-30	80-00	0	0	90-30	128-00	13-30	147-30	0

罐 使 用 時 數															
一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四		
時	時	時	時	時	時	時	時	時	時	時	時	時	時		
0	0	0	0	0	0	0	0	18	18	18	20	20	24	18	18
0	0	0	0	14	14	14	0	12	12	12	12	24	24	24	24
0	0	0	0	24	24	8	0	0	0	0	0	17	17	17	17
0	0	0	0	0	24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15	15	11	11	18	24	11	11	0	0	0	0	0	0	0	0
24	24	24	24	24	24	24	24	0	0	0	0	0	0	0	0
24	24	8	8	8	8	8	8	0	0	0	0	0	0	0	0
20	24	12	12	8	8	8	8	0	0	0	0	0	0	0	0
0	15	0	0	0	0	0	0	0	11	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	17	24	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	16	24	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	17
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18	24
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	14	24
0	0	0	0	0	0	0	0	8	12	0	0	0	0	8	14
0	0	0	0	0	0	0	0	18	26	0	0	0	0	0	0
合計	102	55	55	94	150	99	83	63	98	30	32	63	67	202	218
累計	102	55	55	94	150	99	83	63	98	30	32	63	67	202	218

0049



(七) 汽 走 表

任 務	投 錨 日 日	投 錨 地 名	原 速 節	運 轉 時 數 時 分	主 機 機 總 回 轉 數			總 報 履 理	行 動 用				燃 料 (他)				行 動 用 油 (他)				補 給 水 量 噸	備 考		
					左 舷	中 機	右 舷		第 一 種 煤 炭	第 二 種 煤 炭	和 油	童 油	燃 料 (他)				行 動 用 油 (他)							
													合 計	火 油	汽 油	及 他	部 油	部 油	部 油	部 油				
回航	5-10	舞鶴 小樽	5-12 10/12	54-45	447,976		447,214	591.1	0	240.0	0	0	240.0	0	15.0	0	0	22.0	358	21	0	379	71.5	巡視船の 普通燃料及機関油
合 上	5-15	函館	5-17 12	40-05	342,864		342,929	477.6	0	184.0	0	0	184.0	0	10.0	0	0	16.0	246	0	0	246	55.0	合 上
合 上	5-18	泥路	5-18 12	5-25	46,571		43,164	58.7	0	27.0	0	0	27.0	0	8.0	0	0	3.0	50	0	0	50	7.5	合 上
合 計				100-15	837,411		833,307	1,127.4	0	451.0	0	0	451.0	0	33.0	0	0	41.0	684	21	0	705	134.0	
累 計				100-15	837,411		833,307	1,127.4	0	451.0	0	0	451.0	0	33.0	0	0	41.0	684	21	0	705	134.0	

0050

大正十年五月中軍艦平方戰時月誌(會計經理部)

一會計經理部關スル令達ノ大要

令達受領日

摘要

摘要

五月四日

三水戰機密第四三號軍需其他搭載標準

被服五ヶ月分糧食滿載 糧營需品消耗品出

來得ル限リ多量酒保品適宜

五月十五日

官房第一七四號要綱要露領沿岸派遣スル艦船乗員給其

増俸ノ目的地ニ向テ内地最終港灣出航ノ日ヨリ初メテ

内地港灣ニ帰着ノ日迄戰時給其規則第二條

第一項増俸ノ半額ヲ支給ス

派遣手當戰時給其規則第九條第二項及第三項ヨリ

派遣手當ヲ給ス

實費増額派遣中傷病ヲ受テ若クハ疾病ニ罹リ又ハ死スル

官費治癒

シテトキハ戰時給與規則第十五條又ハ第十六條ヲ適用ス

前各項又ハ別ニ定ムルモノヲ除ク外乘員給與付テハ戰時ノ規定ヲ適用セス

二、增俸增給、開始年月日●經費出納現況、被服糧食、需品、受拂現況、恤兵金受拂現況

1. 增俸增給開始年月日 五月十日(小樽出港)

2. 經費出納現況、被服受拂現況、糧食受拂現況、需品受拂現況、恤兵金受拂現況別表、如シ

終

0052

經費受拂現況表

科	目	受	拂	残
臨時軍事費		七、五、七、九	八、〇、五、五	七、八、五、四、九
俸給		七、五、九、〇	八、〇、五、八	八、七、六、四、七
旅費		七、五、九、〇	八、〇、五、八	八、七、六、四、七
衣糧費		七、五、九、〇	八、〇、五、八	八、七、六、四、七
船費		七、五、九、〇	八、〇、五、八	八、七、六、四、七
雜費		七、五、九、〇	八、〇、五、八	八、七、六、四、七
雑仲費		七、五、九、〇	八、〇、五、八	八、七、六、四、七

0053

新井嘉晴

品名	被服	受拂	現況	表	摘	要
帽日覆	四〇	〇	四〇	榮禮浦耗品以下		
麻襟	虎參六	〇	虎參六	五線長行章以下		
折久紐	虎貳	〇	虎貳			
食器箸	虎九	〇	虎九			
下士官軍帽前章	四虎	〇	虎八			
一等下士官臂章	虎六〇	〇	六虎			
二等下士官臂章	虎六八	〇	八〇			
三等下士官臂章	虎〇四	〇	六九			
一等兵臂章	虎四七	〇	虎參貳			
二等兵臂章	虎九虎	〇	虎參五			
三等兵臂章	虎八八	〇	虎八八			

被服受拂現況表

0054

五線善行章	四線善行章	三線善行章	二線善行章	一線善行章	掌厨術章	掌記術章	工術章	船匠術章	運用術章	普通科特技章	高等科特技章	特修科特技章
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
			虎六虎	虎七虎	虎虎	四虎	参八	四	参参	参七虎	参六	五
			虎大	六五	六	〃	〃	〃	虎	四四	参参	〃
九	大大	参虎	虎四五	参六	五	四虎	参八	四	参参	参七	虎八四	五

0055



今	事業服上衣袴	食器碗	紺足袋	腹巻	靴下	半袴釣飾	襟下	今中着襟	今夏袴袴	兵襦袴
〃	〃	的組	的	〃	組	〃	〃	〃	〃	何
尙五	尙五	尙	〇	四	〇	〇	尙	大	尙	大
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
尙五	尙五	尙	〇	四	〇	〇	尙	大	尙	大

0057





合	兵	下	合	兵	合	下
袴	夏衣	官	袴	軍	袴	官
'	何	'	'	'	'	何
虎	虎	五	八	八	七	七
参	参	九	八	八	七	七
貳	貳					
。	。	四	参	参	参	参
虎	虎	参	八	八	八	八
参	参	五	五	五	七	七
貳	貳					
					以下 軍服 袴	第 三 種 消 耗 品

0058  
0059

兵襦袢	合夏襦袢	下士官軍服袴	兵軍帽	下士官軍服軍帽	雨衣	正帯兵外套	合袴	下士官夏衣	合袴	兵軍衣	合袴	下士官軍衣
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	何
虎五四	虎〇五	九大	虎参	七	虎四九	参七	五九	五九	虎八	虎八	虎七	虎七
虎	虎四	虎九	虎	参七	八〇	虎四	虎四	参	参	参	参	参
虎五参	虎八虎	六七	虎参	参五	虎四虎	参七	参五	参五	虎五	虎五	八七	八七
										近同	以下軍服服袴	第三種消裁品

0058  
0059

紺足袋	折ノズ	腹巻	衣囊	靴下	半靴	袴釣飾	脚絆	袴下	中着袴	中着	合夏袴絆
組	〃	〃	何	〃	組	〃	〃	〃	〃	〃	〃
参六六	四八	五四	四	虎七。参	大参四	五。外	虎。虎	七。参	外九八	九五	虎。虎
大。	四。	四。	大。	外。	外。	外。	大。	虎。	外。	外。	外。
参六。	四八	五。	四	虎六九七	大参。外	外。六	九九	七。参	外九外	九四	虎。虎

0060

食器碗	白	参考	白	参考
卒業服上衣	〃	虎七五	白八	虎四七
合袴	〃	虎七五	白八	虎四七
兵軍帽前章	〃	虎虎五	白六虎	虎四四
禮服用 一等下官臂章	〃	参考七	〃	参考七 貸典品以下 半長靴と同
二等下官臂章	〃	四虎	〃	四虎
三等下官臂章	〃	参考参考	〃	参考参考
一等兵臂章	〃	虎参〇	〃	虎参〇
二等兵臂章	〃	九四	〃	九四
三等兵臂章	〃	虎参虎	〃	虎参虎
一線善行章	〃	虎五〇	〃	虎五〇
二線善行章	〃	七〇	〃	七〇
三線善行章	〃	五〇	〃	五〇

0061

合 手袋	富 番 外 套	裏 章	〃 四 線 美 行 章	〃 五 線 美 行 章	〃 工 術 章	〃 軍 厨 術 章	〃 軍 記 術 章	〃 船 匠 術 章	〃 軍 用 術 章	〃 普 通 科 特 技 章	〃 高 等 科 特 技 章	〃 特 修 科 特 技 章
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
虎 大	参 虎	五	虎 。	五	虎 。	四 参	参 大	大	六	虎 参	四 七	参
虎 大	大 虎	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。
。	虎 。	五	虎 。	五	虎 。	四 参	参 大	大	六	虎 参	四 七	参

0062

患者蒲團覆	枕覆	綿蒲團	患者帶	患者股引	患者襦袢	軍長白衣	綿入長白衣	食器腕	雨衣袴	雨衣帽	今袴	事業服上着
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
丈八	丈九	丈五	丈八	丈五	丈〇	丈參	丈五	丈八	丈〇	丈〇	丈六	丈六
丈八	丈九	丈五	丈八	丈五	丈〇	丈參	丈五	丈八	丈〇	丈〇	丈六	丈六
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇

0063

毛織手袋	毛織袴下	防寒外套	毛織襦袢	合手袋	合毛織襟巻	准官立外套	紺足袋	毛織襟巻	前垂	被服梱	貸共毛布	毛布覆
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
四五〇	四五〇	虎〇〇	四五〇	虎〇	虎五	虎五	虎六	四五五	四九	五六	六〇	木九
四四九	四四九	五八	四四九	虎〇	虎〇	虎五	虎六	四五〇	虎五	〇	六〇九	木九
虎	虎	四〇	虎	〇	五	〇	〇	五	四	五六	虎	虎

0064


新川繪巻

半長靴	今靴下
	組
虎。	四五。
大。	四九
大。	大

0065



糧食品受拂現況表(官給品部)										
品名	数稱	受	高	拂	高	残	高			
干麩麩	貫	七〇七〇	五〇五	七〇四	三〇八	九六六	七四五			
貯藏獸肉	〃	九〇八	四六〇	七五八	八〇	九〇八	四〇			
貯藏魚肉	〃	九〇八	四六五			九〇八	四六五			
白米	〃	八〇八	九〇五	七四四	九四五	九〇七	九七〇			
割麥	〃	五七九	五六九	四六九	三〇七	三〇七	九九九			
豆	〃	四四〇	三〇〇	三〇〇	〇〇〇	四四八	三〇〇			
麥粉	〃	八〇〇	四〇〇	三〇〇	三〇〇	八〇〇	三〇〇			
乾物	〃	八六九	九〇九	七〇七	三〇七	三〇七	六九九			
罐詰野菜	〃	七〇八	六八〇	三〇五	五〇	七〇九	三〇〇			
茶	〃	五〇九	九〇	六〇〇	四〇	五〇	四九〇			
焙麥	〃	六五七	七五〇	六五〇	五〇〇	五九	三〇五			

0066

生麵	药药粉	罐詰果物	火酒	干鰹	罐詰牛乳	凝脂	塩	胡广油	酢	醬油	天光糖	三本行
〃	〃	貫	升	〃	〃	〃	貫	〃	〃	升	〃	〃
陸大外	陸外	陸	陸九七	八〇	四五	七四	外四〇	陸五九	六〇四	參六七外	四參八	四六參
八六	〇〇〇	〇〇〇	外八	參六	六六六	八〇〇	〇〇〇	參〇〇	六五五	〇〇〇	參〇〇	參〇〇
陸參四			陸八	陸九	外六	四〇〇	陸參五〇〇	陸外九〇〇	四七六五五	四六七〇〇〇	參八參	外六九九
外八	陸	陸	陸八	六陸	四參	七〇	外六五〇〇	陸四六	五五七	參外五〇〇	四〇〇	四參六
大四〇	〇〇〇	〇〇〇	陸六	外參五	四六	八〇〇	四〇〇	四〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	參陸

0067

品名	嗜好食品受取高拂高城高	二種漬物	一種漬物	味噌	鶏卵	生野菜	塩獣肉	焼真肉	塩真肉	生魚肉	生牛肉	
		"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	
		八五七	九参六	茂茂七六	茂八〇	参五九九	五七	八八	六八	茂九五	茂四茂五	
		前七	九八七	〇〇	四五〇	八〇〇	〇〇〇	九茂茂	茂茂茂	茂茂茂	茂茂茂	
		五六	参八八	茂〇七	茂〇〇	茂九四七	茂	四参	四参	茂茂茂	茂茂茂	
		八七〇	八七五	〇〇〇	茂八六	四六〇	〇〇〇	参四六	参六〇	茂茂茂	茂茂茂	
		八〇〇	五四八	九六九	八〇	茂茂茂	茂茂茂	茂茂茂	茂茂茂	茂茂茂	茂茂茂	
		四〇	茂茂茂	〇〇〇	茂茂茂	茂茂茂	茂茂茂	茂茂茂	茂茂茂	茂茂茂	茂茂茂	

0068

削鳥賊佃煮	西洋辛子粉	唐辛子	煎奥佃煮	大海老佃煮	胡椒	日本辛子粉	白胡椒	カレー粉	白玉粉	三本行	焼麩	煎奥
貫	本	〃	〃	貫	本	〃	貫	本	〃	〃	〃	貫
肆 〇 〇 〇	肆 〇	陸	肆 〇 〇 〇	肆 〇 〇 〇	参 〇	参 〇 〇 〇	五 〇 〇 〇	六 〇	陸 五 〇 〇 〇	参 肆 〇 〇 〇	陸 〇 〇 〇 〇	四 〇 〇 〇 〇
肆 〇 〇 〇					陸 〇	陸 〇 〇 〇	肆 〇 〇 〇	肆 〇	陸 〇 〇 〇 〇	陸 大 〇 〇 〇		陸 五 〇 〇 〇
	肆 〇		肆 〇 〇 〇	肆 〇 〇 〇	肆 〇	肆 〇 〇 〇	参 〇 〇 〇	四 〇	五 〇 〇 〇 〇	陸 大 〇 〇 〇	陸 〇 〇 〇 〇	肆 五 〇 〇 〇
		八 〇 〇	〇 〇 〇	〇 〇 〇		〇 〇 〇	〇 〇 〇		〇 〇 〇	〇 〇 〇	〇 〇 〇	〇 〇 〇

0069

千枚通	黒肉	朱肉	白墨	朱墨	墨	毛筆	墨	名	艦 需 品 受 拂 現 況 表  (消 耗 品 部)	泡消	生姜	オシロイソス
何	、	五	〃	〃	〃	何	教稱	個		貫	本	
五	虎〇〇	虎〇〇	参〇〇〇	参	七	虎八八	受	五		五	虎。	
							高			〇〇〇		
							拂					
							高			虎	虎	
							残			〇〇〇	〇〇〇	
							高					虎。
虎	虎〇〇	〇	参七	参	参	虎五九				四	四	〇〇〇

0070

半紙罝紙甲	令乙	美濃罝紙甲	印襦	印汁	小刀	令乙	鉛筆甲	イニキ	ペン軸	ペン	鐵筆	印刷肉
"	"	枚	"	"	"	"	"	"	"	"	"	何
参、 〇〇〇	参、 五〇〇	虎、 〇〇〇	虎	参	八	虎 八〇	参、 〇	参、 〇	虎、 〇	参、 〇〇	四、 四	
虎、 〇〇〇	五、 〇〇	五、 〇〇	虎	参	四	参、 七	虎、 〇	虎、 参	四	九、 参	四、 虎	
参、 〇〇〇	参、 〇〇〇	五、 〇〇	〇	虎	四	虎、 四、 参	参、 〇	虎、 七	六	虎、 〇、 七	〇、 参	

0071

合	状袋	合	洋紙	表紙大小	炭酸紙	印刷原紙	美濃紙	合	合	合	横造罫紙	半紙罫紙
乙	甲	丙	乙	乙	乙	乙	甲	丁	丙	乙	甲	乙
"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	枚
参五〇〇	四〇	六〇〇〇	参〇	五〇	参〇〇	参〇〇	七〇〇〇	七五〇〇	参〇〇〇	五〇〇	七五〇〇	参〇〇〇
七〇〇〇	七〇	七〇〇〇	参〇	参〇	五〇	参〇〇	五〇〇	五〇〇	五〇〇	五〇〇	五〇〇	五〇〇
参五〇〇	参〇	五〇〇〇	〇	参〇	七五〇	七〇〇	五〇〇	七〇〇〇	参五〇〇	〇	七〇〇〇	参五〇〇

0072

現況報告用紙	糧食支出簿	現金拂込書	給典請用紙	仕拂諸算書	概算支出簿	前渡金請用紙	金銭出納請用紙	現況報告 及乙甲	履歴表	選拔所見表	考課表	俸給袋
枚	部	"	枚	"	部	"	"	"	"	"	"	"
枚 〇〇	枚 五	枚 五	枚 五〇	枚 〇	枚 〇	枚 四〇〇	枚 〇〇	枚 〇	枚 〇	枚 〇	枚 五〇〇	枚 四〇〇〇
枚 〇〇	枚 五	枚 五	枚 〇〇	枚 〇	枚 〇	枚 〇〇〇	枚 〇〇	枚 〇	枚 五	枚 〇	枚 〇	枚 〇〇〇
枚 〇〇	〇	〇	枚 五〇	〇	〇	枚 四〇〇	枚 〇	〇	枚 五	枚 〇〇	枚 五〇〇	枚 三〇〇〇

0073



飯杓子申	玉揚籾	煮揚籾	亀甲籾	蚊帳地布	麻糸	名簿用紙	艦船配員簿	令 丙	令 乙	經理規定用紙	兵備品諸用紙	醫務用紙
"	"	"	何	米	個	"	"	"	"	"	"	枚
参	虎	五	八	五	四	参	虎	五	参	虎	六	虎
参	虎	五	八	五	六	参	虎	五	虎	五	虎	虎
〇	〇	〇	〇	〇	六	〇	〇	〇	六	六	虎	〇

0074

金	豆汁紋袋	豆汁袋	現行法規金書	綴金丙	澁紙	海軍會計法規集	海軍諸例則	薪	彫	皮	罐
中	袋	袋	書	丙	紙	集	則			剥	切
米	"	何	部	何	枚	"	部	把	"	"	個
卷	卷	卷	部	卷	卷	部	部	七〇	卷	六	五
卷	卷	卷	卷	卷	卷	卷	卷	七〇	卷	六	五
〇	〇	〇	卷	〇	卷	卷	卷	〇	〇	〇	〇

0075

恤兵金受拂現況表

摘要	単位	受額	拂額	残高
筆書隊受		貳参〇〇〇〇	貳四〇〇〇	貳参〇〇〇
フットボール代			貳四〇〇〇	貳五〇〇〇
野球用具代			貳五〇〇〇	貳九参〇〇
碁石将棋代			貳〇〇	貳七参〇〇
農具代			七〇〇	貳六五〇
蓄音機代			九〇	七四〇
書籍代			貳五〇	四九〇
瑞艇接漕相模量			貳四〇	貳四〇

(続)

0076